

令和3年度 学力スタンダード指導計画・報告書【様式1】

教科：(国語)科目：(現代文B) 対象：(第3学年1組～7組)

科目担当者：1・3・5組(田中康彦^印)、2・4・6・7組(田中千佐子^印)

教科・科目の指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・2学年次の「現代文B」で養った読解力をもとに、更に幅広くさまざまな現代の文章を読む。 ・近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し、読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。
------------	---

	前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえることを苦手としている生徒が多い。 ・文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わうことを苦手としている生徒が多い。 ・慣用表現や基礎的な語彙・漢字の知識が不十分で、適切な語句の用法に苦勞する生徒が多い。 ・自分の考えを、適切な文章表現を用いて表現することを苦手としている生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評論文の教材を精選し、読解力が向上するよう課題プリントを用いて適切な指導を行う。 ・小説などの教材を精選し、読解力が向上するよう課題プリントを用いて適切な指導を行う。 ・便覧を積極的に活用し、文学史的な観点からも指導を行い、文学作品を鑑賞する態度が身につくように指導する。 ・漢字・語彙の力を伸ばせるよう、単元の中で機会を捉えて継続し指導する。 ・自分の考えを文章にして、適切に表現できるための指導を、時期を選び集中的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとの目標や習得させる能力を計画段階で練り、生徒の指導や評価において到達度を明確にする。 ・各教材ごとの課題プリントを作成する。 ・生徒の学習意欲が向上するような教材を作成することに留意する。 ・感染症対策を施しながら、相互に意見交換ができるように、グループでの活動などを導入しながら、自己の読解力向上に働きかける。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			